

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

『アーツアンドクラフツ運動』とは19世紀末から20世紀初頭にかけて、イギリスを中心に繰り広げられた運動です。世界に先駆けて起こった産業革命によって、工業化が進み、中世から続いてきた手仕事が隅に追いやられ、人々は農村から都市へ労働者として出て行き、技術の進歩は生活の物質的豊かさ、便利さとともに労働の喜びを奪い、自然を破壊し、公害をもたらしました。こうした流れに反して、生活に美と労働の喜びを求める人たちが、『手仕事の復権』を唱えて、アーツアンドクラフツムーブメントという運動を起こしました。デザインだけでなく、当初から環境保護運動や地域福祉とも結びついた社会運動でもありました。

アーツ&クラフツビレッジはこのアーツアンドクラフツ運動の精神を今に受け継ぐべく、岡山県美咲町の廃校を再利用し、家具と染織の工房を構え、約30年近く活動してきました。この間、国内外の多くの人々に活動場所を提供し、障害を持った人々への木工や染織の指導も行ってきました。近年は過疎化がさらに進み、耕作放棄地や空き家も目立つようになり、工房活動だけでなく、ルーラルスクール（田舎の学校）を開き、田舎暮らしを学ぶ活動にも取り組んできました。

今回、法人として申請するに至ったのは、これまで個人工房として実践してきた活動をさらに地域に定着させ、次世代に継続していくために、社会的にも認められる公的組織にしていくことが最良の道であると考えたからです。私たちが目指す活動が、営利目的でなく、地域や社会に役立つものであり、多くの市民に参加していただくことが不可欠であるという点から、特定非営利活動法人格を取得することを考えました。

現代社会において、アーツアンドクラフツ運動が示した問題点はさらに深まっています。生きづらさを感じている全ての人々、とりわけ心身に障害を持つ人、高齢者、こどもたちが、安心して暮らせる社会を実現するために自然、芸術、工芸を軸として、新たな生き方を学ぶ場所として、必要な事業を行い、地域福祉、地域生活に貢献するとともに、地域を基礎として、地方と都市、国際的な交流を通して豊かな社会を作っていくことへの貢献を目指します。

2 申請に至るまでの経過

- 1992（平成4年）年7月 長尾泰典、豊美が旧旭第2小学校を借用し、家具と染織の工房アーツ&クラフツビレッジを設立、以降現在に至る
- 2011（平成23年）年3月 サステイナブルな生き方を学ぶルーラルスクールを開始
- 2020（令和2年）年3月 NPO法人化に向けて勉強会を開く
- 2020（令和2年）年9月 NPO法人アーツ&クラフツビレッジ設立総会開催

令和 2年 9月 26日

特定非営利活動法人アーツ&クラフツビレッジ
設立代表者 岡山県久米郡美咲町中3090番地
氏名 長尾 豊美 印